（別紙4（2））

事業所名：　グループホームはっぴーらいふ

作成日：　平成 26 年 3 月 26 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に対して、職員それぞれの受け取り方が異なり、一人一人が確実に理念を理解し、意識したケアを行っているとはいえない。	職員一人一人が理念について考え・統一した理解を持ち、具体的な目標設定・行動ができるようにする。	①職員全体で、理念を踏まえた1年間の具体的な方針を立てる。 ②その方針に対して、職員が個人目標を立て、半年に1回見直しを行う。	12ヶ月
2	35	火災に対する避難訓練が多く、他の災害（台風や地震）に対する訓練が少ない。また備蓄の確保に関して定期的な見直しが出来ていない。	台風や地震などの防災訓練も行い、常に緊急時を想定した対応ができるようにする。また、職員全員が備蓄品の保管場所や内容を把握しておく。	①火災のみでなく、他の災害を想定した訓練を実施する。 ②備蓄品のリストを作成し、月に1度決まった曜日に備蓄した食料の消費期限や備蓄品の在庫の確認を行う。	12ヶ月
3	10	運営推進会議では、ご参加いただけるご家族が決まってきており、昨年入居された利用者のご家族など、ご家族同士の交流や職員との面識も浅い状態で、ご意見を伺えていない。	日頃、伺う事の出来ないご家族の想いや不安、悩み、ご意見を少しでも多く職員やご家族同士でお話しいただける場を設ける。	①バーベキューや敬老会などの行事にご家族をお誘いし、閉会後にご家族同士で想いや日頃抱えられている不安や悩みなどをご自由にお話しいただける環境を設定する。 ②職員と会食・宴の場を設け、日頃からお気づきの点やご意見を気軽にお話しいただける場の設定を行う。	12ヶ月
4	12	事故発生時や重度化した場合の対応が、漠然としており、細部の部分が統一できておらず不安がある。	重度化した場合や急変時に、個々の利用者に対して職員が安心してケアが行えるように統一化した細かなマニュアルを作成する。	①入居時に重度化した場合の対応についてご家族へ説明を行い、利用者やご家族のご意向を確認する。 ②重度化に伴い、個別の対応マニュアル作成を看護師に依頼し、医療的立場からの勉強会・指導を受ける。	12ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。